

授業科目	現代日本地方財政論 ―市町村の財政構造を分析―		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	河音 琢郎		
実施日・時間	5月28日(木)	18:00~20:30	
	6月4日(木)	18:00~20:30	
	6月11日(木)	18:00~20:30	
	6月18日(木)	18:00~20:30	
	6月25日(木)	18:00~20:30	
	7月2日(木)	18:00~20:30	
	7月9日(木)	18:00~20:30	
	7月16日(木)	18:00~20:30	
	7月23日(木)	18:00~20:30	
	7月30日(木)	18:00~20:30	

#### 【講義内容】

この講義では、日本の基礎自治体である市町村を主たる対象として、第1に、地方財政制度の基本的な仕組みについて学びます。その上で、第2に、個々の受講生に具体的な市町村を特定してもらい、その市町村の決算カードを基に財政分析を行うことで、市町村財政分析の基本的な手法を実践的に身につけます。第3に、今日の日本の市町村が抱えている諸課題について、この間、国によって進められてきた地方財政改革との関係に重点を置いて、考えていきます。

具体的には、以下の3部構成で講義を進めていきます。

第1部(第1回～第4回)：日本の地方財政制度の基本的仕組みとその歴史

まず、市町村の財源構成(収入の構造)、国と市町村との財政関係、市町村財政の使われ方(支出の構造)、特別会計や公社、第3セクターなどの財政、といった、現在の日本の地方財政の基本的構造とその特徴について学びます。その上で、現代日本の地方財政の特徴がどのように形成・展開されてきたのか、その歴史の変遷について学びます。

第2部(第5回～第7回)：市町村財政分析の実際

それぞれの受講生に、財政分析を行ってみたい市町村を特定してもらい、その市町村の決算カードに基づいて、市町村の財政分析を実践的に行ってもらいます。

第3部(第8回～第10回)：現代地方財政の改革課題

「平成の大合併」と呼ばれた市町村合併、いわゆる「三位一体の地方財政改革」、自治体財政健全化法など、近年国によって進められてきた地方財政改革について解説した後に、これらの諸政策の影響に重点を置きながら、現代日本の地方財政の抱えている諸課題と改革の展望について、考えていきます。

#### 【テキスト・教材】

大和田一紘『習うより慣れろの市町村財政分析―基礎からステップアップまで』自治体研究社、2007年、ISBN：9784880374925、¥2,100(税込)

そのほか、参考書については、講義の最初に指示します。

#### 【事前学習】

第2部の講義では、実際に自治体の決算表を基に財政分析に挑戦してもらうので、できればパソコンのエクセル(表計算ソフトウェア)の使用になれておいただければありがたいです。パソコンの使用が苦手という方も、講義の中で個別相談にのり、適宜対応しますので、あまり気にせずに受講してください。